最速!! 送迎メイドバトルR

Fastest Chauffeur Maid Battle

Chapter:1

RESTRICTED 18

WARNING!!

This book is for mature adults only.
Keep away from children and your mother and your wives or girlfriends

うわあああああっ!!
なっ…なんで起こしてくれなかったんだよっ!
久美いっ!!
主人公
いわせきょうすけ
岩瀬　恭介
何度も何度も起こしましたよ恭介さま
2回遅刻したら停学…!
そしたら出席日数不足で留年か退学まであっという間…!
ウチの学校の遅刻への厳しさは度が過ぎてるよ…!
ご自分が悪いのですよもう…
ぽた
朝が弱いのをわかってるのに夜更かしばかりなさるからです
まぁまぁ大丈夫ですよ恭介さま
もうすでに私の車を用意してありますから
岩瀬家のメイド
ふじわらだくみ
藤原田　久美

え…
久美の車って…
まさか…
あのちゃっち…いやちっちゃいヤツ…
そうです！
K WORKS FULLTIME 4WD
い…
いやもう今日は遅刻でもいいからいつものベンツで…
わ
わ
いけません！
せっかく学年首席の恭介さまが遅刻だなんて！
あ
わ
どちらにしろS63は本日旦那さまがお使いになってますし
うえぇぇぇぇぇ…
最速!!
迷図メイドさん
R
さぁさぁお急ぎください！
恭介さまっ！
スズキ
HB21S
アルトワークス「R」

海と山に囲まれた
小さな観光地が
僕の住む街で
僕の家は
その山の山頂付近の
別荘地にある
そんな最悪の
立地のせいで
麓の学校までは
毎朝車で40分
予鈴まで
あと15分では
どう考えても
間に合わない
…ハズなのだが
うあああああ
あああああああっ!!
とめてとめてとめて
とめてえええええっ!!
お任せください
恭介さま
まだこの子の実力の
6割程度で
充分に間に合います
Sabelt

誤解されがちですが
車を速く走らせる運転と
無謀で無茶な運転は
大きく異なります

度胸や気合いだけで
アクセルを踏み込み
ハンドルを切っても…

ぎいいいいい
やあああああっ!!

車は決して
物理法則の枠を
飛び超えられません

もちろん
レースの世界では
その度胸が必要な
局面は
多々ありますが…

のわあああああ
あああああっ!!

車にかかる物理を
身体に覚え込ませる
地道な反復練習を
繰り返し…

車の挙動を感じ取り
その性能の限界を
引き出せるようになる

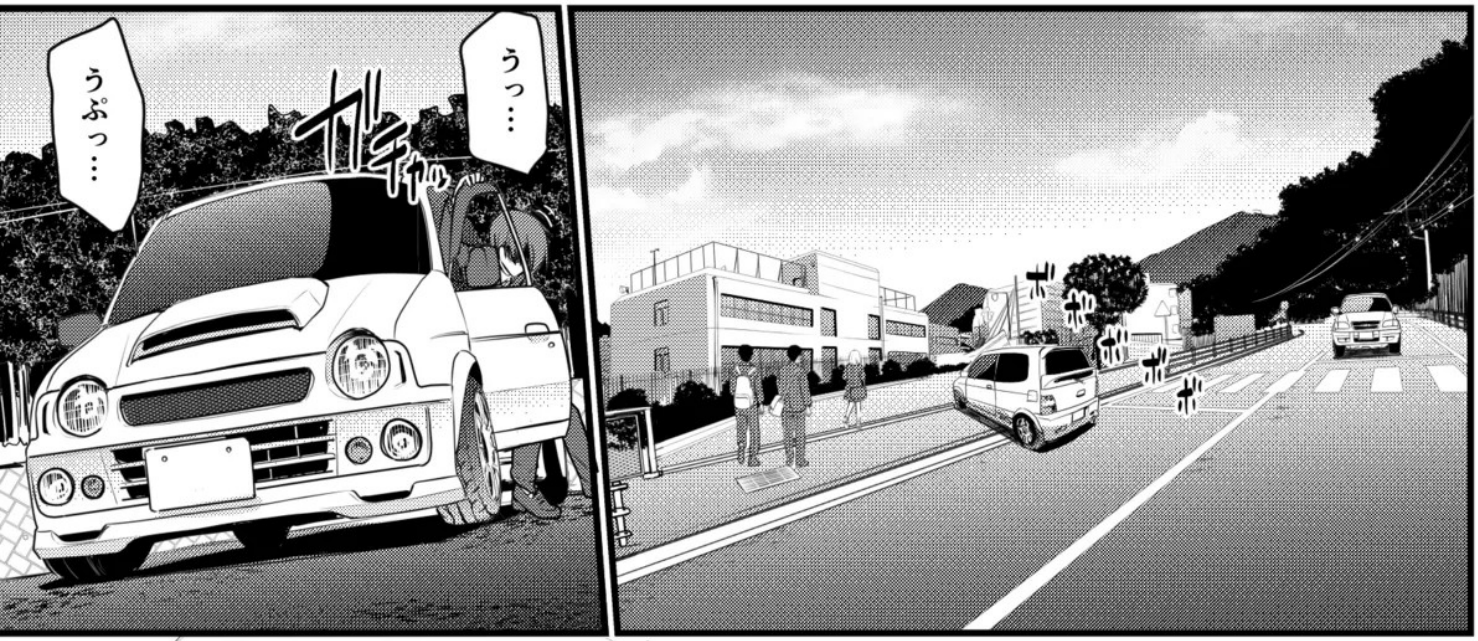
それが車を
速く走らせる
ということです

そうなれば
これ以上踏み込んでは
いけないという領域は
自ずと見えてきます

ですから
どうかご安心
くださいませ
恭介さま♪

あばばばばば
ばばばばばば

法的に踏み込んじゃいけない領域はとっくにブッちぎっちゃってますけどぉおお!?
ばびゅーーん
おろしてくれえええええっ!!


うっ…
うぷっ…
ガチャ
ボボボボ

行ってらっしゃいませー
ホントに間に合った…
よろ
けどもう二度と乗りたくない…
よろ
これが…
ウチのメイドの久美だ…

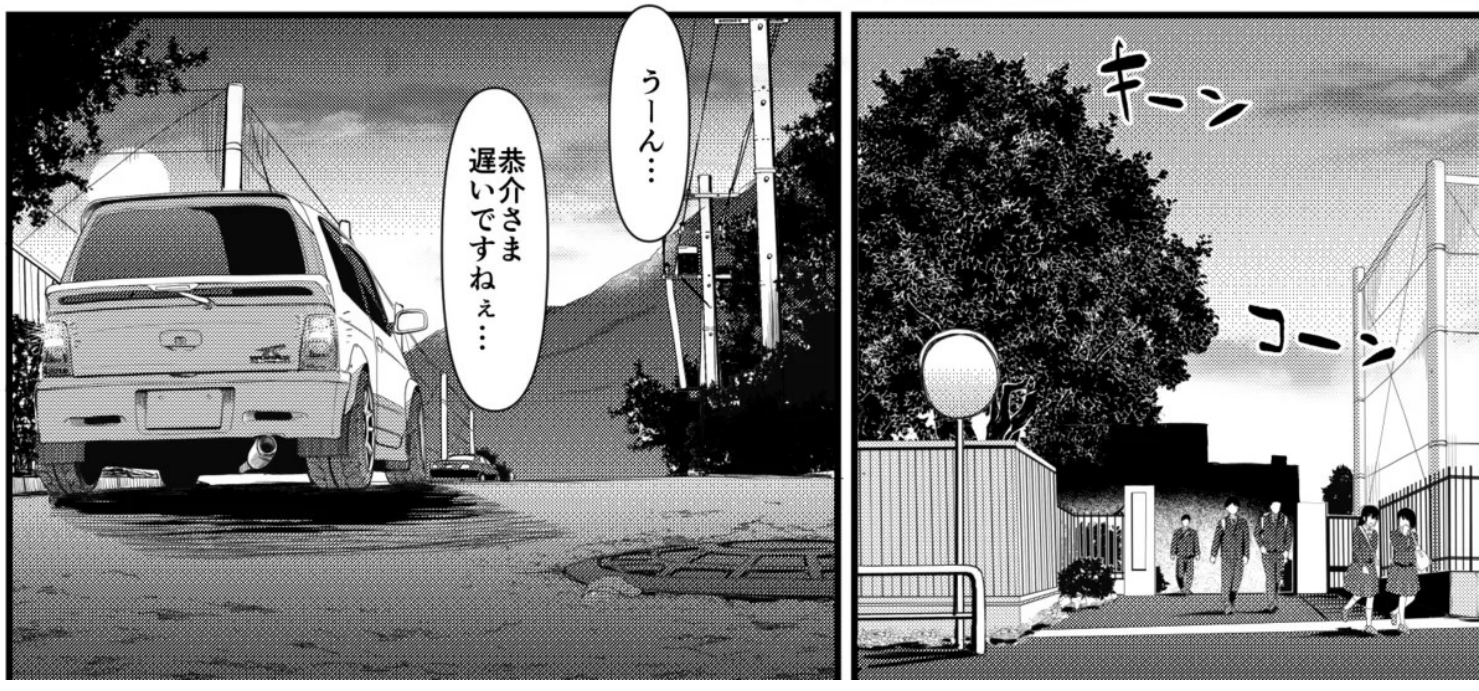
普段は超がつくほど
生真面目で
今時珍しいくらいに
「清楚なお姉さん」って
感じなのに…
もちろん美人だし
異性として
意識してないと言えば
嘘になるけど…
こと車のコトとなると
アレなのだ…
いや普段の運転は
ものすごく
丁寧なんだけどね…
夜更かしは
いけないと
思います
たぶん僕のことなんて
せいぜい世話のかかる
弟くらいにしか
見てないと思う
しかし車が好きなら
せめてもっとマトモな
車に乗ればいいのに…
なんであんな
古くてボロい
軽自動車に…
よくわかんないけど
僕ならやっぱセダンかな…
大きいやつで…色は…
そうそう
あんな感じで
黒の上品な…
って…

アレは違ったわ…
学園理事長お付きのメイド
高橋（たかはし）　ケイコ
トヨタ
JZX100　チェイサー
ツアラーV
まずこのジジイが
この学校の理事長
おぉ…
「時間を守れない人間は
社会に必要ない」が
モットーの
イカれたジジイで…
学園理事長
土屋（つちや）　文太（ぶんた）
あの忌々しい
遅刻厳禁校則の元凶だ
今日も時間通り
見事じゃった
ケイコ
ありがとう
ございます…
さっさと
お行きくださいませ…

そしてこっちが
理事長お付きのメイド
ケイコだ
ケイコは僕より
1つか2つ年上で
理事長の親戚らしいけど…
僕が私立の小学校に
入ってパッタリと
疎遠になったんだ…
なんだかんだあって
中学生くらいの頃に
理事長の家に
引き取られたとか…
理事長と僕の父に
関わりがあることもあって
小さな頃に一緒に遊んだ
記憶もあるけど…
ケイコもずいぶんと
キレイになったよなぁ…
まぁ僕のことなんて
もう忘れてるだろうけどさ…
……
恭介…さま…
あっ…♡
あぁっ…♡

はぁぁぁぁっ♡
今日もたいへん凛々しゅうございます恭介さまぁぁぁっ♡
あっ♡あっ♡
だめっ…イクッ…♡
イッちゃ…♡
あぁっ♡
イクイクイクイッ…♡
あっ♡あっ♡
あぁっ♡恭介さまっ♡
すきっ…♡
あっ♡あぁぁぁっ♡
好き好き好きぃっ♡
イクっ…♡
イキますぅっ♡
恭介さまぁぁぁぁっ♡
はーっ♡
はーっ♡
恭介…さま…
すき…♡
やっぱり…
ゆるせない…

恭介さまには…
この私こそが相応しい…
あんなちょっと胸がデカいだけの下品なメイドに…
あんな下等で下品な軽自動車…
恭介さまには相応しくない…！
もう我慢できない…
もう決めた…
今日こそ…今日こそは…
恭介さまは私のモノ…！
ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
ふき
ふき


キーン
コーン
うーん…
恭介さま遅いですねぇ…

16:47
恭介さま
今日は16時くらいだと思うよ
12:40
了解です！それでは16時頃お迎えに上がります
既読 12:42
到着しました！裏門前にてお待ちしておりますね！
15:55
まってるワン。
16:40
返信も来ませんし…
ぴかぽっ
ラーーん
しかしやはりスタンプなんて少し軽率で失礼だったでしょうか…？
シュッ
ぴろぽっ
お仕えするお屋敷のご子息様相手にメイドの私なんかが…
お年頃の男の子にお仕えするのもなかなか距離感に気を使うモノですね…
ポロ
…って言っても私と2つか3つしか変わりませんけど…
ん？
アレは…

理事長先生の家のケイコさん…？
キョロ
キョロ
…!!
…アレどう見ても中身…
ヒト…のような…
ん――っ
ん――っ
ぷはッ…

!!
だ…誰かっ…
助けっ…!!
わぷっ!!
TOURER V
ヒヒィ
オオオオ

き…恭介さまっ!!
まっ…

待ちなさぁぁぁいっ!!
わっ
追いかけてくるつもり…?
下等な軽自動車の分際で…
私の邪魔…
しないでっ…!
WATER TEMP
TURBO
PEAK
defi

50m先
CHIKUNE
RESTAUR
ヴォォォォォ
キャァァァァ
いったい
なにが目的で…
くっ…！
恭介様を
どこに連れて行く
つもりでしょうか…

でもこんな
信号も交通量も
多い街中では…
そうそう逃げ切れは
しませんよ…！
…！
なっ…！
恭介さまを
乗せてるのにっ！
ちーん
なんて無茶な運転（コト）
するんですかぁぁっ…!!

やっぱり山に
向かってる…！

このまま
登りの峠道に
逃げ込まれたら…

こちらが圧倒的に
不利です…！

久美の駆る
アルトワークスRは
完全受注生産の競技ベース車両

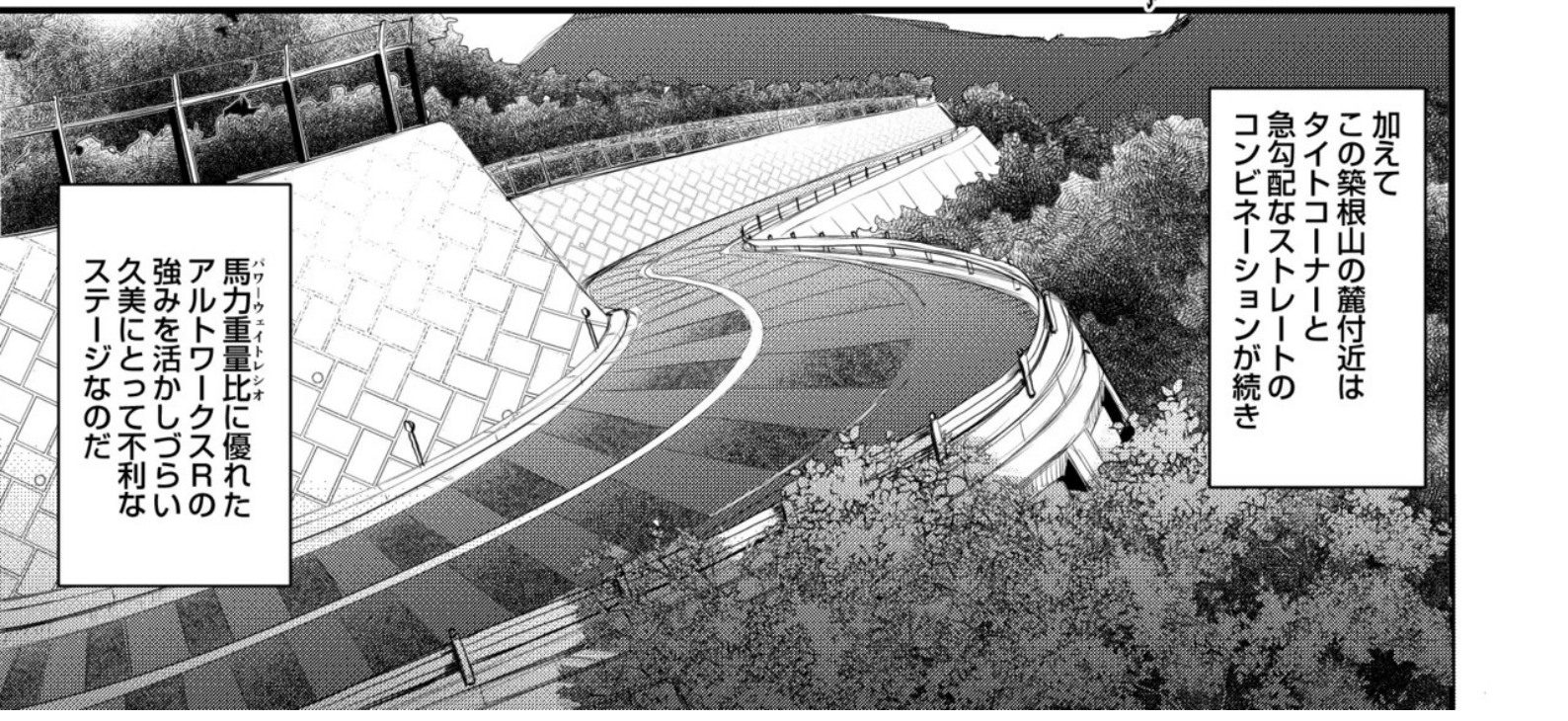
総生産台数がわずか
100台に満たないと
言われているまさに幻の
史上最速の軽自動車

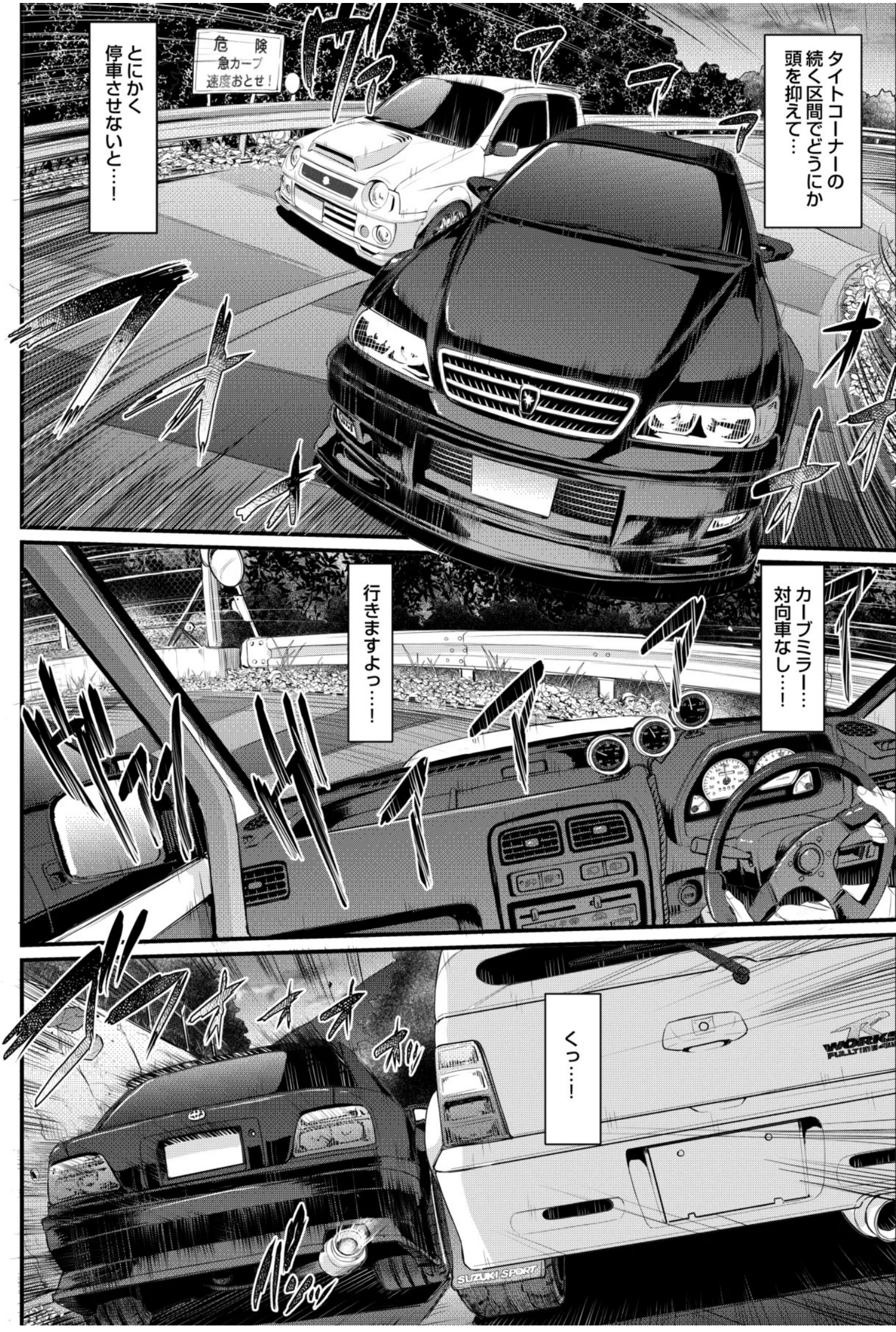
メーカーチューンが施された
特別仕様のK6Aエンジンを
約600Kgの軽量な車体に
搭載したその高い戦闘力は
並の普通車を軽々と凌駕する

だがやはり元々が
低排気量の軽自動車ゆえに

峠のキツい
上り勾配では
苦しいモノがある

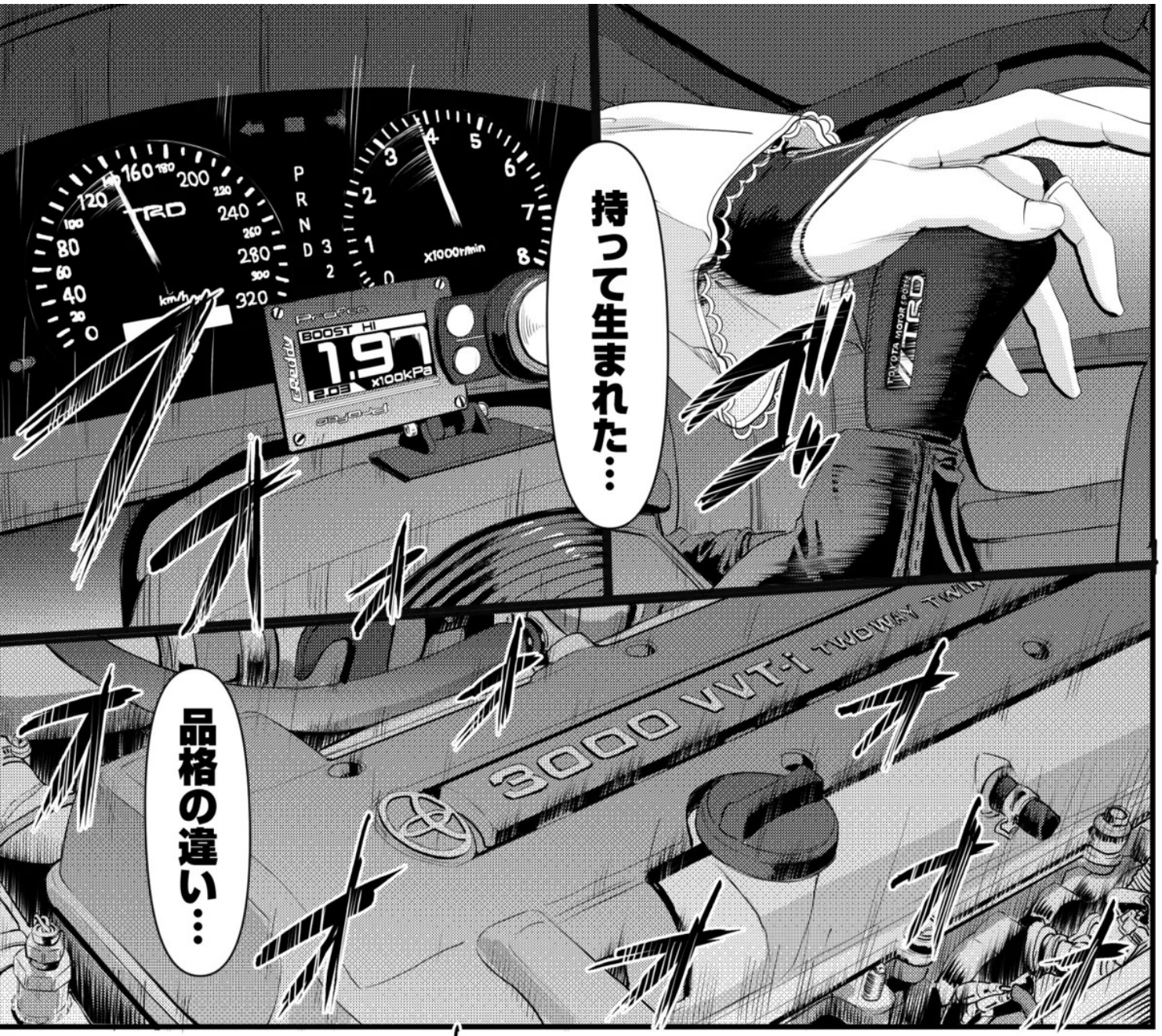
フォオオオオ
一方ケイコの駆る
チェイサーは対称的
約1．5tの大柄な
4ドアボディを
強靭な足廻りと
圧倒的なエンジン
パワーで補う
更に
このケイコのチェイサーは
元々搭載している高出力な
1JZターボエンジンから
国産最強クラスの
2JZターボエンジンに換装され
各所に施されたハイチューンにより
800馬力を叩き出す
モンスターマシンである


加えて
この築根山の麓付近は
タイトコーナーと
急勾配なストレートの
コンビネーションが続き
馬力重量比（パワーウェイトレシオ）に優れた
アルトワークスRの
強みを活かしづらい
久美にとって不利な
ステージなのだ


タイトコーナーの続く区間でどうにか頭を抑えて…
危険 急カーブ 速度おとせ！
とにかく停車させないと…！
カーブミラー…対向車なし…！
行きますよっ…！
くっ…！
SUZUKI SPORT

やっぱり登りでは
旋回速度で勝っていても
立ち上がりの
加速で負けてしまう…
勝負できるポイントは
もう次が最後…
コーナーに進入してから
仕掛けても
間に合わないなら…
ここはリスクを覚悟で
やるしかありません…！
対向車線を目一杯
踏み抜いて加速して…
コーナー進入前の
ブレーキ勝負で
一気に前に出るっ…！
ふふっ…
弱者が強者に
歯向かうための…
その必死で
哀れな猿知恵…
私が優雅に
叩き潰して
あげる…！
！

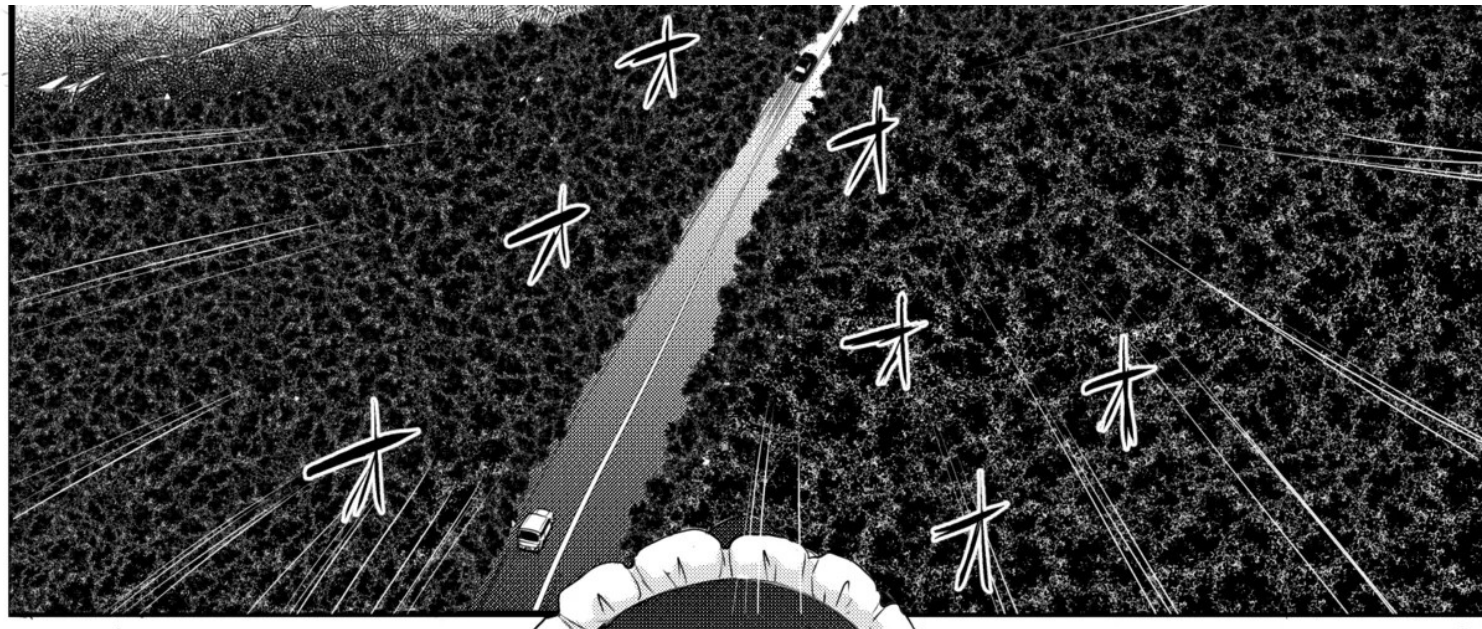
道幅いっぱいのパワースライド…!!
完全にもて遊ばれてるっ…!
この先はもうっ…!
そう…この先は…
長い長ぁいストレート…



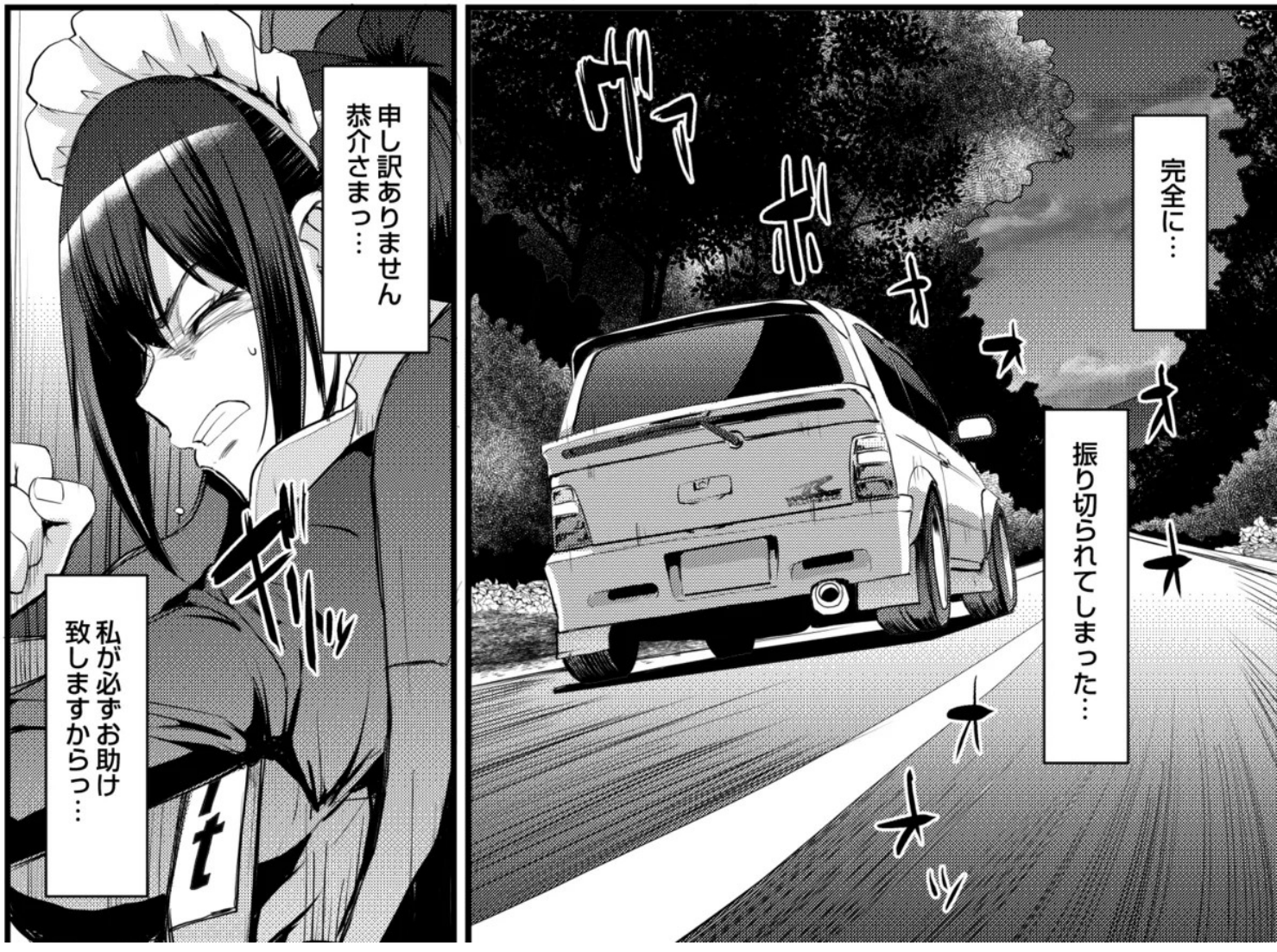
持って生まれた…

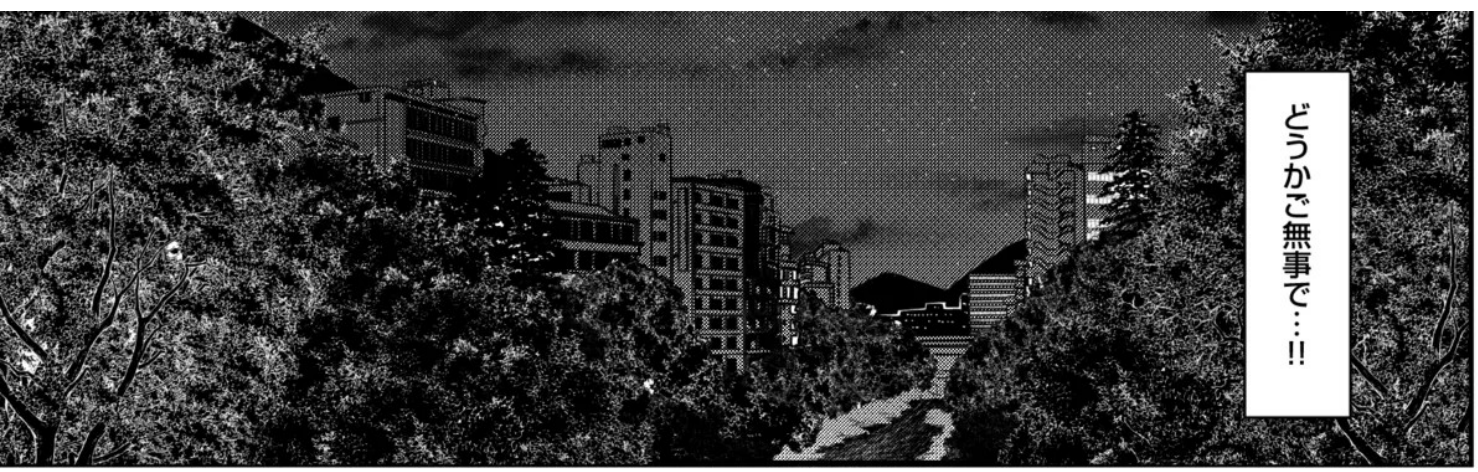
品格の違い…

思い知りなさい…!!


オオオオオオオオ

な…
なんて加速なの…
全開のワークスがまるで止まっているかのように…


完全に…
振り切られてしまった…
申し訳ありません恭介さまっ…
私が必ずお助け致しますからっ…


どうかご無事で…!!

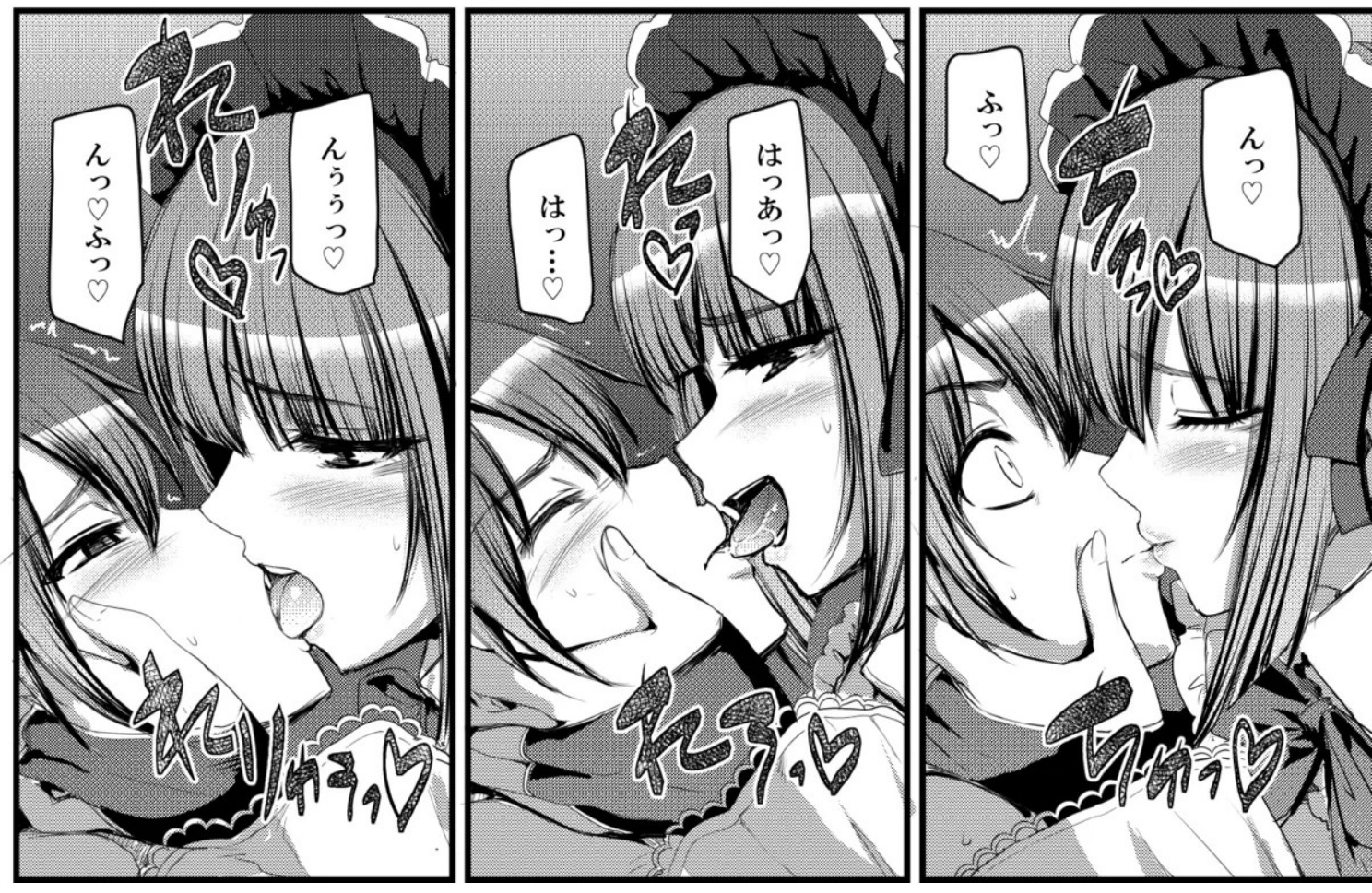
Hotel Resting

ん…
うぅ…

なっ…
なんだコレっ…!!

ふふ…
お目覚めですか
恭介さま…
ケイコッ…!!
なんのつもりだ
コレはっ…!!
ここは一体っ…

ここは…逃避行の末辿り着いた私と恭介様のつかの間の愛の巣…♡
ゆらり
私と恭介様は今宵ようやくこの場所で結ばれるのです…♡
なっ…
何を言って…!
あぁっ恭介様っ…♡
幼い頃からずっとお慕いしておりました…♡
私は何年も何年も…ずーっとこの時を夢見て…♡
今宵は私の初めてと恭介様の初めて…ぜーんぶ交換致しましょうねぇ…♡
ドンッ
ギンッ


んっ♡
ふっ♡
はっあっ♡
はっ…♡
んぅうっ♡
んっ♡ふっ♡

はぁっ♡
すごいっ…夢みたいっ…♡
私の初めてのキスッ…
ホントに恭介さまに
捧げちゃった…♡
ハァ♡
幸せっ…♡
私ッ幸せぇっ♡
ハァ♡
恭介さまにっ…
私の唾液
飲まれちゃった…♡
ハァ♡
恭介さまは
いかがでしたかっ…
初めてのキスッ…♡♡

はぁぁっ♡
夢にまで見た
恭介さまの
おちんぽ…♡
この少し皮を被った
愛らしいお姿も…♡
この子宮が疼くような
香りも全部…♡
全部大好きぃっ…♡

まずは…
この可愛いお皮を
優しく剥いてから…♡
いただきまぁす…♡
あぁぁぁっ…!

うっ…
あっ…!

ぼ…僕は別に
初めてなんかじゃっ…!
あぁん♡
ご安心ください
恭介さま…♡
恭介さまがまだ
純潔なことだって…♡
週に何度オナニー
しているかだって…♡
私は恭介さまのことなら
なんでもぜぇんぶ存じ上げて
おりますからっ…♡

あぁぁっ…！
ふうううっ♡
んっ♡
うぁっ…
あっ…！
んんっ♡んっ♡
んんんんんっ…♡
んふううう
うううっ♡
あぁぁぁっ…！
ぷはっ♡
ほーっ♡
ほーっ♡
ほーっ♡
ほーっ♡
しゅごいいいい…♡
なにこれぇ…♡
おくちに咥えただけで…
おまんこキュンキュンして
イッちゃいましたぁぁ…♡
恭介さまのおちんぽが
大好きなので仕方がない
ケイコを
お許しください…♡
うぁっ！
はっ！
恭介さまのために
たくさん練習した
私のフェラチオご奉仕で
すぐに気持ちよくして
差し上げますから…♡

んっ♡
んっ♡んっ♡
んっ♡んっ♡
んっ♡んっ♡
んっ♡んっ♡
はぁっ！
あっ！
あぁぁっ！
あうっ…あっ
そんなっ…
舌でっ…あぁっ！
はぁっ
あぁぁっ！
そこ…はっ…
うあっ…！
あっあっ
あっあぁっ…！

も…もう無理っ…
はひっ♡くらひゃいっ♡くらひゃいいっ…♡
おくちにピュピュって…♡
恭介さまのザーメン…♡
いっぱいのまひぇてぇっ♡
イクっ…イクううっ！
あぁっ！

うあっ…あっ！
もう出なっ…
あぁぁぁっ！

はぁぁぁぁっ♡
これが恭介さまの…♡
精液っ♡
ザーメン♡
子種汁ぅっ♡
ごくごくしちゃった…♡
私の中に恭介さまの
赤ちゃんの素が
入っちゃったぁ…♡
こんなの
おまんこの前に
おくちから
妊娠しちゃいそぉっ…♡
ほんとは…
こっちにたくさん
たぁくさん…♡
ドピュドピュ
種付けしてもらわないと
いけないのに…♡
いーっぱい
見てください…♡
恭介さま…♡

子作り準備ばっちりの
私の発情
オトナおまんこ…♡
はーっ♡
はーっ♡
もちろん
お見せするのは
恭介さまが初めて
なんですよぉ…♡
あぁあっ
すごいっ…♡
恭介さまに
私のおまんこ…♡
ぐちょぐちょで
恥ずかしい
発情おまんこ
いっぱいいっぱい
見られてるぅっ♡
あぁっ…♡
あぁあっ…♡
もうっ…
もう私っ…♡
ガマン
できませんんっ♡

お許しください
恭介さまぁっ♡
むぐっ!!
うぅ――っ!!
あっ♡あぁっ♡
あっあっあっ♡
嬉しいです
嬉しいです
嬉しいですっ♡
恭介さまが
私のおまんこっ♡
舐めて
くださってるぅっ♡
ごめんなさい
恭介さまっ♡
私もうイクッ…♡
おしっこ
でちゃうぅ…♡
あっ♡あぁっ♡
イクッ…♡
イクイクイクっ…♡

ヒクッ
ヒクッ
ぬるぬる
ぬるぬる
ぬるぬる
ぬるぬる
はぁぁぁぁっ…♡
もうしわけ…
ございませんん…♡
恭介さまの
凛々しいお顔に
私のおしっこがぁ…♡
はぁぁぁぁっ♡
嬉しいです
恭介さまぁっ♡
私のおしっこ飲んで
こんなにもおちんぽ
ガチガチにして
くださったなんて…♡
恭介さまの
深い深い愛情を
感じてしまいますぅ♡

それでは…♡
!!
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
恭介さまにも私を求められたいぃ…♡
挿入れたくて仕方なくなるまで…
あぁっ♡はやく想いを遂げたいけど…♡
やっぱり恭介さまが私のおまんこに…
こっちのおまんこで…
ぷにっ
たぁーっぷり遊びましょ…♡
あぁっ♡ついにっ…ついに長い間想い続けた恭介さまにっ…♡
私の純潔をお捧げすることができるのですねっ…♡

お…♡あっ…♡
おぉっ…♡
は…はいってる…♡
恭介さまの
おちんぽ…♡
ひぐぅぅぅっ！
お尻めくれちゃっ…
はいっただけでっ…
軽くイッたぁ…♡
おっあぁぁっ♡
しゅごっ…♡
ビクン
ビクン
ビクン

なにっこれぇっ♡
いつものっ…
おもちゃよりっ♡
おなかっ
えぐれてっ♡
ひきだされてっ♡
おかしくなりゅぅっ♡
全然しゅごいっ
しゅごいいっ♡
私のいちばん
汚れた穴っ♡
恭介さまのおちんぽで
おしおきされてるぅ♡
恭介さまもっ
気持ちいいですかっ♡
私のっ♡いちばん
恥ずかしい穴っ♡
こっちの穴も
恭介さまがいつでも
使えるようにっ♡
ひとりで
たくさん練習して
おいたんですよぉっ♡
ほんとは
おちんぽ挿れる
ところじゃない
この穴だって…♡
私は
恭介さまになら…♡

お射精専用オナホールにされたってっ♡
ぜんぜん幸せなんですからぁっ♡
あっ♡
おっ♡
ほっ♡
ぱちゅっ♡
あっ♡おっ♡くるっ♡
深いのくるっ♡おっきいのくるっ♡
背筋っゾクゾクしてきたぁっ♡
だっダメだケイコッ…！
俺もまたっ…
はいっ♡はいいっ♡くださいっ♡恭介さまっ♡
私のお尻の穴にっ♡熱いのいっぱいっ♡ぴゅっぴゅしてっ♡
私もイクっ♡お尻でイクッ♡あぁっ♡おっ♡あぁぁっ♡
おっおっおっあっあぁっ♡
ぐぽっぐぽっぐぽっ

あっ…おっ…
おぉっ…♡
はぁあっ♡

すごい…♡
すごいです
恭介さま…♡
両思いで
えっちの相性まで
最高なんて…♡
初めて同士で…
お尻の穴で…
こんなに気持ちが
いいなんて…♡
やっぱり私と
恭介さまは
結ばれる運命
だったのですね…♡
今宵はまだまだ
たぁくさん…♡
二人っきりの
大切な時間を
過ごしましょうねぇ…♡

おぉっ♡
おぉっ♡
おぉっ♡
おぉっ♡
おぉっ♡
おぉっ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
どうなさいました
恭介さま…♡
もう自由になった
その両手で
私のお尻を掴んで…
私の処女おまんこを
お好きなように
おもちゃにして…♡
お尻の穴と違って
おちんちんを
挿れるための
穴なんですから…♡
いいんですよ…♡
絶対に
もっともーっと…♡
気持ちいいですよっ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
ぱちゅ

冗談じゃない…
誘拐されて
無理矢理こんなコト
されてるのに…
性欲に負けて
そんなこと
するわけ…
でも…
突きたい…
この丸いお尻を
思いっきり
掴んで…
好き勝手に腰を
打ち付けたら…
絶対気持ち
いいよな…
想像以上だったな…
女の子のカラダって…
悔しいけど…
身体は正直に
メスに反応して
勃起してしまう…
フェラチオも…
アナルも…
全部気持ちよくて…
本能的に
僕の身体は…
ケイコのおまんこに
挿れたいんだ…
ケイコの処女
もらったら絶対に
破滅だけど…
もうどうなっても
いいかな…
ケイコだって
変な子だけど
可愛いし…
こんなにも
僕のことを…

!!
嘘だろ…
こんな時に
気付かされるなんて…

なんて間の悪いヤツなんだ僕は…
負けちゃダメだっ…
やっぱり…やっぱり僕は…
おっ♡おっ♡あぁぁぁぁぁおっ♡あっ♡
いぐっ♡いぐっ♡おしりっ♡またっ♡深いのおっ…♡
いぐいっ♡
あぁっ♡おっ♡
おおおおぁぁっ♡

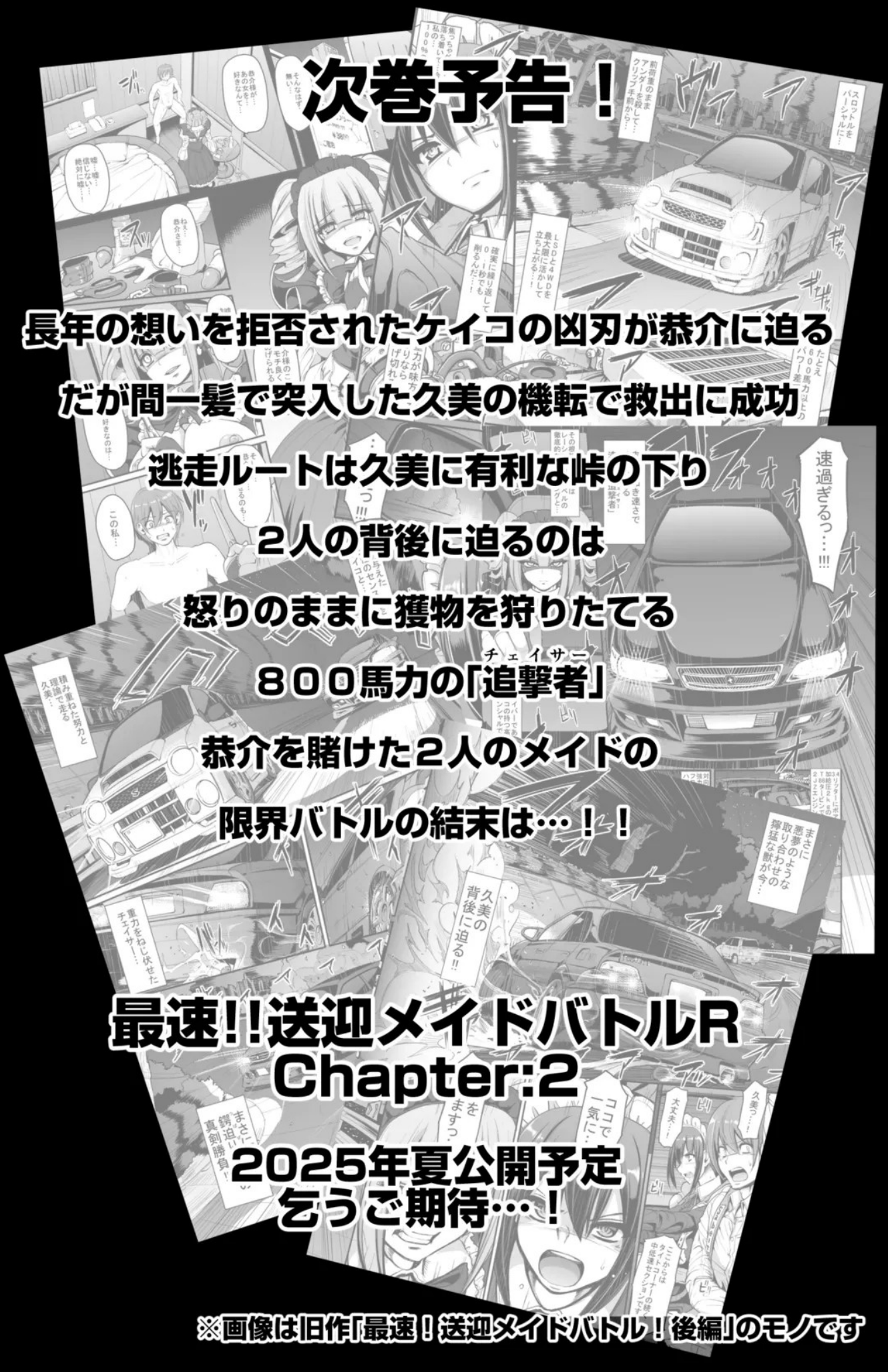
久美のことが好きだっ…!!
おおっ
おおおおおっ
おっ…おおっ…おっあっ…♡
でてるっ…また…♡
お尻にせーし…♡
どくんどくんしてるっ…♡
ほぁっ

はぁっ…はぁっ…♡
私のお尻のあな…♡
恭介さまのおちんちんで
拡がりすぎて…♡
ヒクヒクするたび
ぐぽぐぽって…
恥ずかしい音
でちゃいますぅ…♡
溢れちゃって
もったいない…♡
私に射精してくれた
大事な大事な
恭介さまの精液…♡
一滴残らず…
全部私のモノ…♡
ケイコっ…！
もっ…
もういい加減にっ…！
そうですよね…
いい加減に…
おまんこに挿れたい
ですよね…♡

さぁ…♡
次は子宮に
たぁーっぷり
射精してください♡
ハァッ♡
ハァッ♡
ハァッ♡
そして二人の永遠の
愛の証…♡
ハァッ♡
恭介さまと私の…
可愛い赤ちゃん
作りましょうね♡
…!!
助けてっ…
久美っ…!!
ガァァァッ
!!

スキュア
ようやく…
見つけましたよ…！
ぶぉ ぶぉ ぶぉ ぶぉ ぶぉ
恭介さま…！
今お助けに参ります…！

次巻予告！



長年の想いを拒否されたケイコの凶刃が恭介に迫る

だが間一髪で突入した久美の機転で救出に成功

逃走ルートは久美に有利な峠の下り

２人の背後に迫るのは

怒りのままに獲物を狩りたてる

８００馬力の「追撃者（チェイサー）」

恭介を賭けた２人のメイドの

限界バトルの結末は…！！

最速!!送迎メイドバトルR Chapter:2

2025年夏公開予定
乞うご期待…！

※画像は旧作「最速！送迎メイドバトル！後編」のモノです

あとがき

初代「最速！送迎メイドバトル！」を描いたのはもう約８年前だそうです。
８年だって…精子が小学生になるくらいの時間だよ…そりゃあ歳もとるワケだわ…(涙

となるともう初代ってなんぞやっていう読者の方もいらっしゃると思うので解説しときますと
この漫画はもともと僕の古巣である「コミック阿吽」に掲載されたモノで、
もともとは書店売りのエロ漫画誌に掲載された商業エロマンガなんです。

ありがたいことに初代「最速！送迎メイドバトル！」はSNSでたびたび話題にしてもらえてて
そのたびに嬉しいんだけど絵が古くてヘタクソすぎて恥ずかしい気持ちの方が勝ってて、
せっかく話題にしてもらえてるんだから宣伝とかすりゃいいのに
毎回インターネットから逃亡してしまうという体たらくだったワケで、
いつか絶対にリメイクしたいって思ってたのが今回ようやく叶った次第です。

いまでこそこういう欲張りセットみたいな作風は僕のスタイルですが
最初に書いた当時は普通に新人だったので
この話のネームを提出するのにめちゃくちゃビビってたのをよく覚えてます。
エロマンガであるという制約の上でバトルシーンもきちんと漫画として面白く描きたい！
「エロマンガの導入だし」ってコトで逃げたくない！みたいな
当時の僕のまだ若くトガッた感じのがこの漫画を作り出しました(恥笑

本当によくこんなエロマンガを許してもらえたなって思うし、
許してもらえてなかったら本当に今の自分の作風はなかったなとしみじみ思います。

そんな８年の間に世間は目まぐるしく変わり、商業エロマンガもすっかり衰退し、
電子媒体の同人誌が主流の世の中になりました。
お察しいただけるかと思うんですけどこの手のエロマンガ、めちゃくちゃ手間がかかるんですよ。
だってエロマンガだけでも大変なのに車マンガも一緒に描かなきゃいけないんだもん(
だからやっぱりどうしても原稿料がベースの商業誌としては採算合わなくて、
ずっと二の足を踏んでいたんですがそうこうしてるうちに時代が変わり
電子の同人誌配信がエロマンガ界のメインになり、ついに時は来たってコトで
今回のリブート版「最速!!送迎メイドバトルR」のリリースと相成ったわけです。

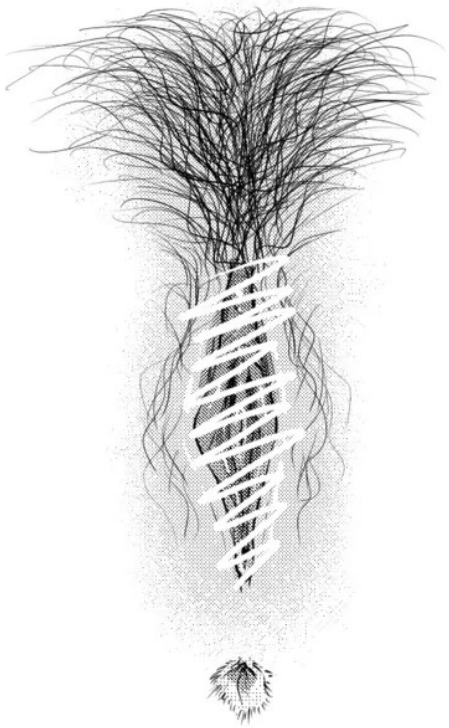
商業誌ではどうしてもページ数に制約でコマ詰め詰めで描いてたバトルシーンを
思いっきり描き直せて本当に楽しかった…！
それでもやっぱり普通の車マンガみたいに、セリフもなくただ車が走ってるシーンを
数ページみたいな贅沢なコマの使い方はできませんでした。
商業エロ出身がゆえの貧乏性かもしれません(
かといって車に興味のない普通の読者もいらっしゃるので(いるのか？)
ちょうどいいバランスなのかなとも思ってます

本当はもっとアレコレ裏話を書きたいんですが
印刷所の締め切りがあと２時間半に迫っているので
そろそろおいとましようかと思います。
予定では後編と、続編のリメイクが終わったあたりで単行本みたいな
同人誌を作ろうと思ってるのでそこでオマケ要素をたくさんブチ込んで
楽しくやろうと思います
それではまた後編でお会いしましょう…！

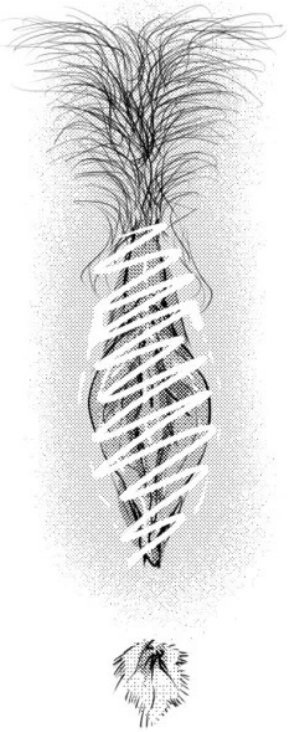
2024/12/24
荒岸来歩

おまけページ
キャラプロフィール的なナニか。

藤原田　久美　（ふじわらだ　くみ）
年齢：２１歳
血液型：O型
身長：１６７cm
ブラサイズ：K７５
愛用下着ブランド：トリンプ
オナニー：週１～２
　　処女なので軽めのクリオナ
陰毛：未処理



高橋　ケイコ　（たかはし　けいこ）
年齢：１８歳
血液型：AB型
身長：１５５cm
ブラサイズ：H７０
愛用下着ブランド：リサマリ
オナニー：週６～８
　　処女なのにディルドでアナルオナ
陰毛：自分で見える範囲をちょっと処理



エロシーンまだなのにいきなりまんこ晒されててかわいそうな久美。
しかし残念コレはエロマンガなのだ…!!!!!!(無慈悲

おくづけ。

誌名：最速!!送迎メイドバトルR
発行者：「人生横滑り。」荒岸来歩
発行日：2024/12/30
印刷：トム出版